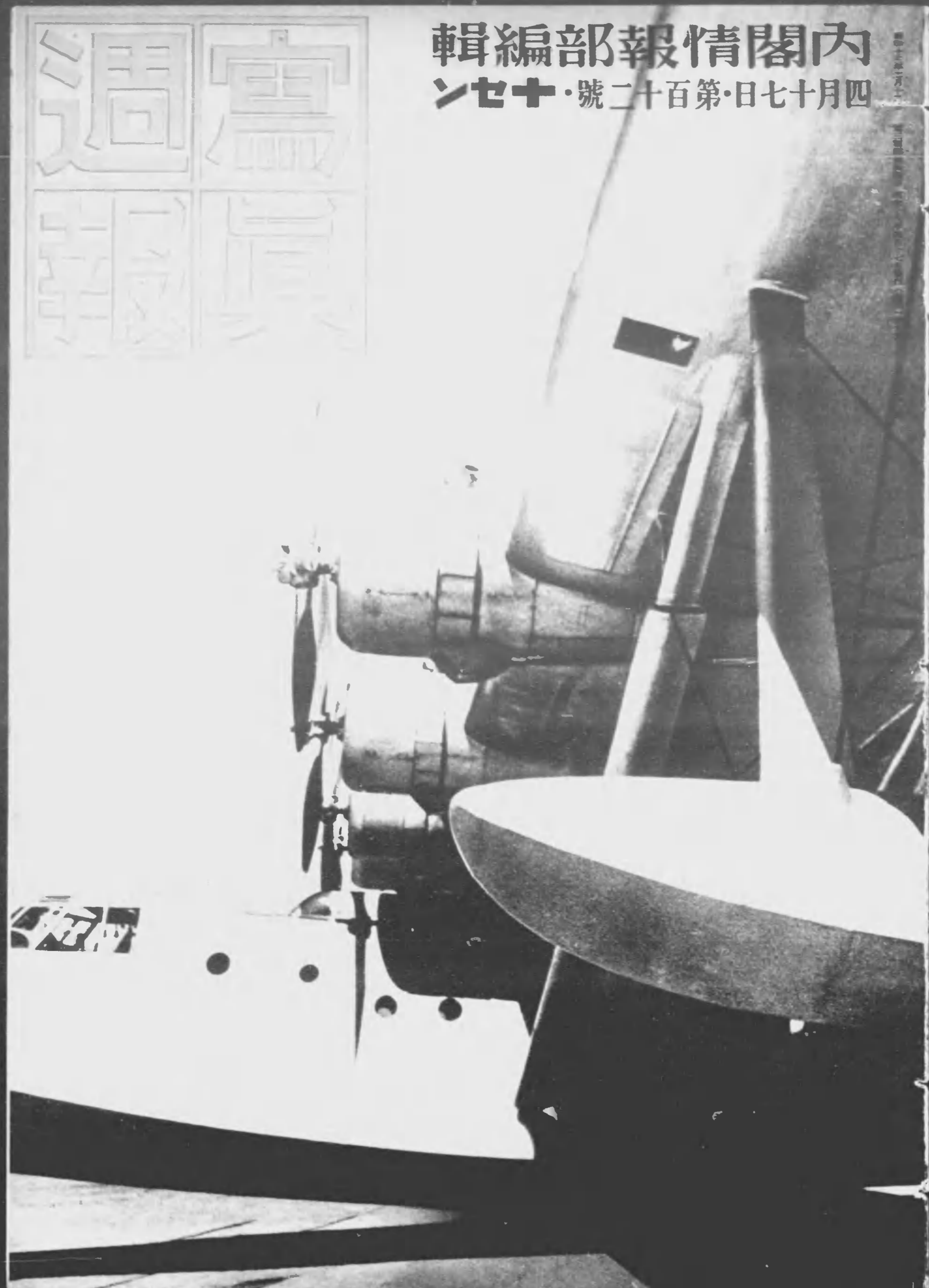


編輯部報情閣内
ンセ十・號二十百第・日七十月四

週
報
富
貴





皇太子殿下
御入学遊ばさる

皇太子殿下には、御紀元二千六百年の佳春とともに御めでたく御學齡に達せられ四月八日學習院に御入学遊ばされたが、九日からは學習院初等科第一學年として皇后陛下御心盡しのランドセルを御背に、櫻の敷立御制御制帽、紺地詰襟の御制服姿も御涼々しく東宮假御所から學習院初等科まで投くも御徒歩で御通學遊ばされ、一般新入生と御同様に小學校の課程を御修學遊ばされることになった。

御寫眞は投くも御徒歩で學習院初等科に御通學あらせられる皇太子殿下

皇宮内閣情報部



皇太子殿下の御通學遊ばされる學習院初等科正門

南洋定期航空路に就く新巨艇



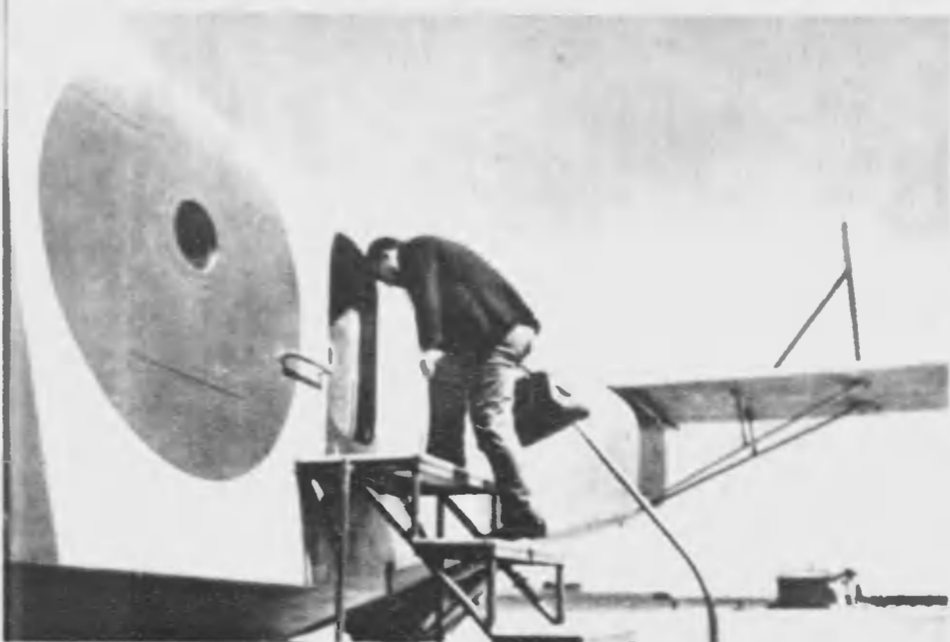
⇒ サイパンから一晩びに横濱に着水した川西式二十五人乗り四發飛行艇

⇒ 暖房、冷房も完備し、較じ地も「四」の騒音。幾千キロの太平洋も晝寝の夢と飛び越へる



⇒ 南洋定期航空は第一、第三水曜の午前六時横濱發である。一寸行つて参ります。氣輕に南洋へ抜立つ

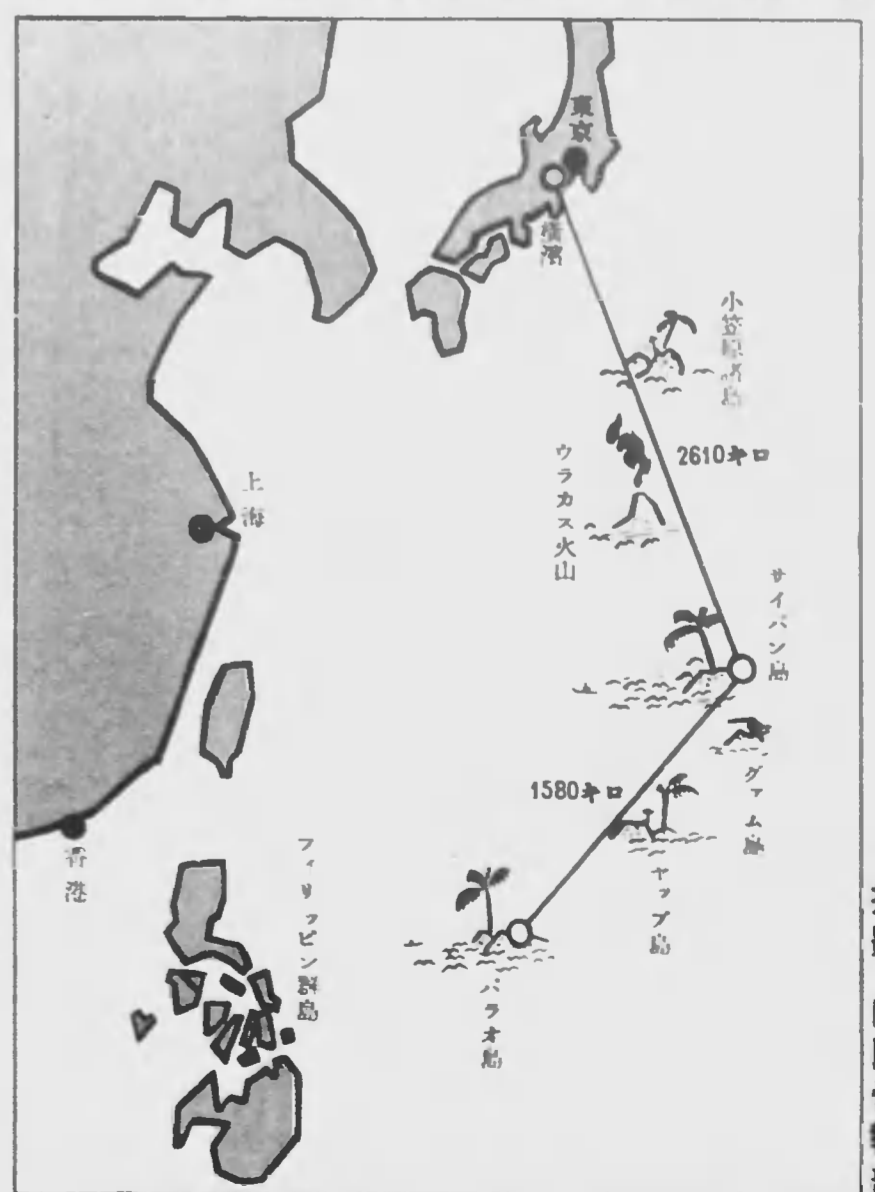
⇒ クラシオンも来かく十七の座席を持つ空のホテル



南洋定期航空路の開闢によつてわが民間航空は太平洋上を遙か彼方までその翼を伸ばし、こゝに劃期的な發達を遂げることになつた

横濱—サイパン—パラオを結ぶ南洋定期航空路は三月六日の第一便によつて開かれたがこれに使用される旅客艇にはわが世界に誇る國產川西式二十五人乗り四發飛行艇がある。十七人の乗客とエア・ボーイを入れた八名の乗務員が搭乗して白銀に輝く巨大な翼は鳥々として常夏の南洋へ快翔する

サイパンを經由して横濱—パラオ間は洋上四一九〇キロ、汽船で行けば片道十日か十一日、往復なら二十日もかかる所を、サイパンに行き歸り二泊、パラオに二泊して往復四泊六日間で二つの島を見物することが出来る。これを飛行延長時間にすると同様—サイパン間が十時間、サイパン—パラオ間が七時間で、往復僅か三十四時間である。巨大な白銀の翼は内地と南洋の距離を五分の一に短縮し、最早南洋を大洋の孤立的存在でなくしてしまつた



撮影 内閣情報部

戦火北歐に波及



四月九日、ドイツ軍は疾風の如く、デンマークに進駐し、続いてノルウェー南部海岸にも空襲上陸を敢行し、戦火はいよいよ北歐に波及することとなった。

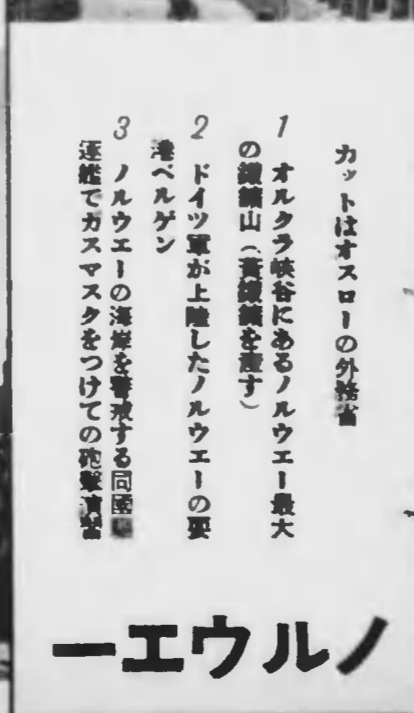
ヨーロッパに平和の風運が絶望になつたこの戦時、すでにアメリカ國務次官ウエルズ氏の歸國ともにはつきりしてゐたやうであつた。ドイツが求める目標は、主にスウェーデンに仰ぎ、ノルウェーのナルヴィク港を經由して送られてゐた。イギリスの封鎖作戦がこゝに着目するのは當然であり、英國は北海の封鎖を敢行するとともに、遂にノルウェー領海に機雷を敷設したのである。ノルウェーは海運国として、イギリスに好意を寄せてゐたが、英國の自領領海内の機雷敷

設には中立侵犯といふ見地から英國に對して嚴重に抗議を發した。しかし一方ドイツはノルウェーの抗議くらゐで英國の封鎖打破は期せられずとして、つひにノルウェーへの進駐となり、同時にデンマークにも進入したのであつた。

デンマークはイギリスの食糧供給國であるとともに、スカンディナヴィア諸國への足場でもあり、同國の占領はイギリスにとつては非常な痛手である。

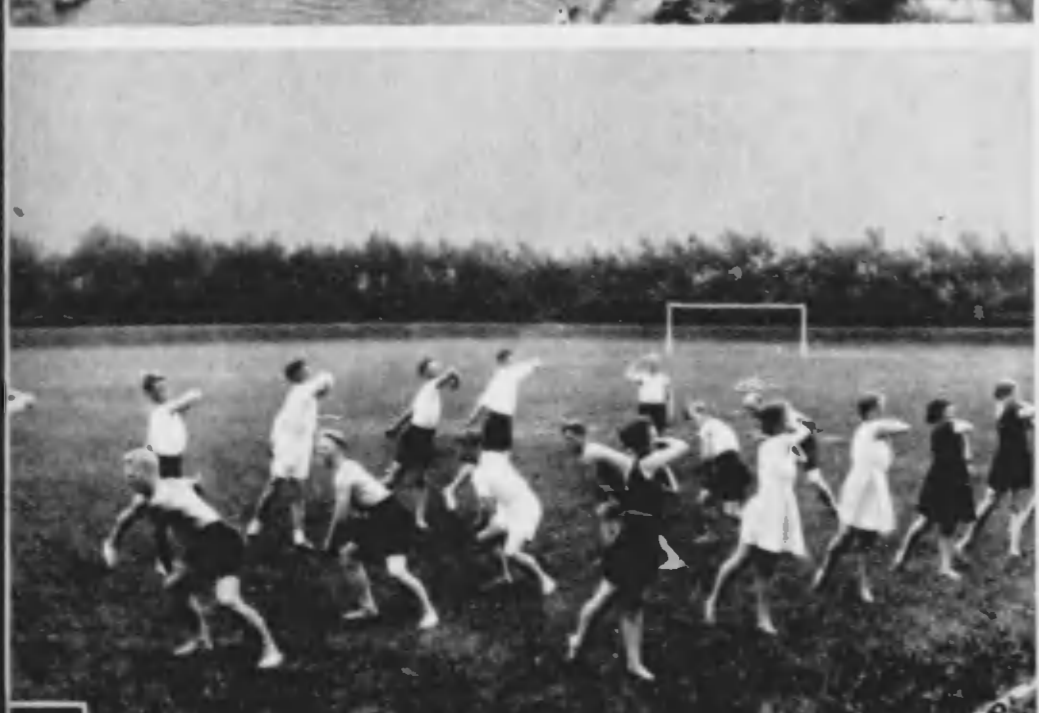
かくて世界の眼は一齊に北歐に注がれ、英佛獨とも戦局推進のためには、強力な手段方法までとらねばならなくなり、それとともに、中立國、中でもスウェーデン、ベルギー、オランダ諸國は、今後益々困難さを加へてゆくことになるであらう。

(續前頁十二頁十三頁参照)



- カットはオスロの外務省
- 1 オルトラ峽谷にあるノルウェー最大の鐘山(音鐘山を産す)
 - 2 ドイツ軍が上陸したノルウェーの要港ヘルゲン
 - 3 ノルウェーの海岸を警備する同國軍運艦でガスマスタをつけての砲撃演習

ノルウェー



デンマーク

- 4 住民の三分の一は農業に従事する農産品で陸運品の産出をもつて聞えてゐる
 - 5 運河を通過するデンマークの軍艦ダンネブロック
 - 6 世界を風靡したデンマーク體操はいまもなほ若男女の間に盛んである
- カットはデンマーク農民教育運動の首領者グロントヴィヒの記念教會(コペンハーゲン)

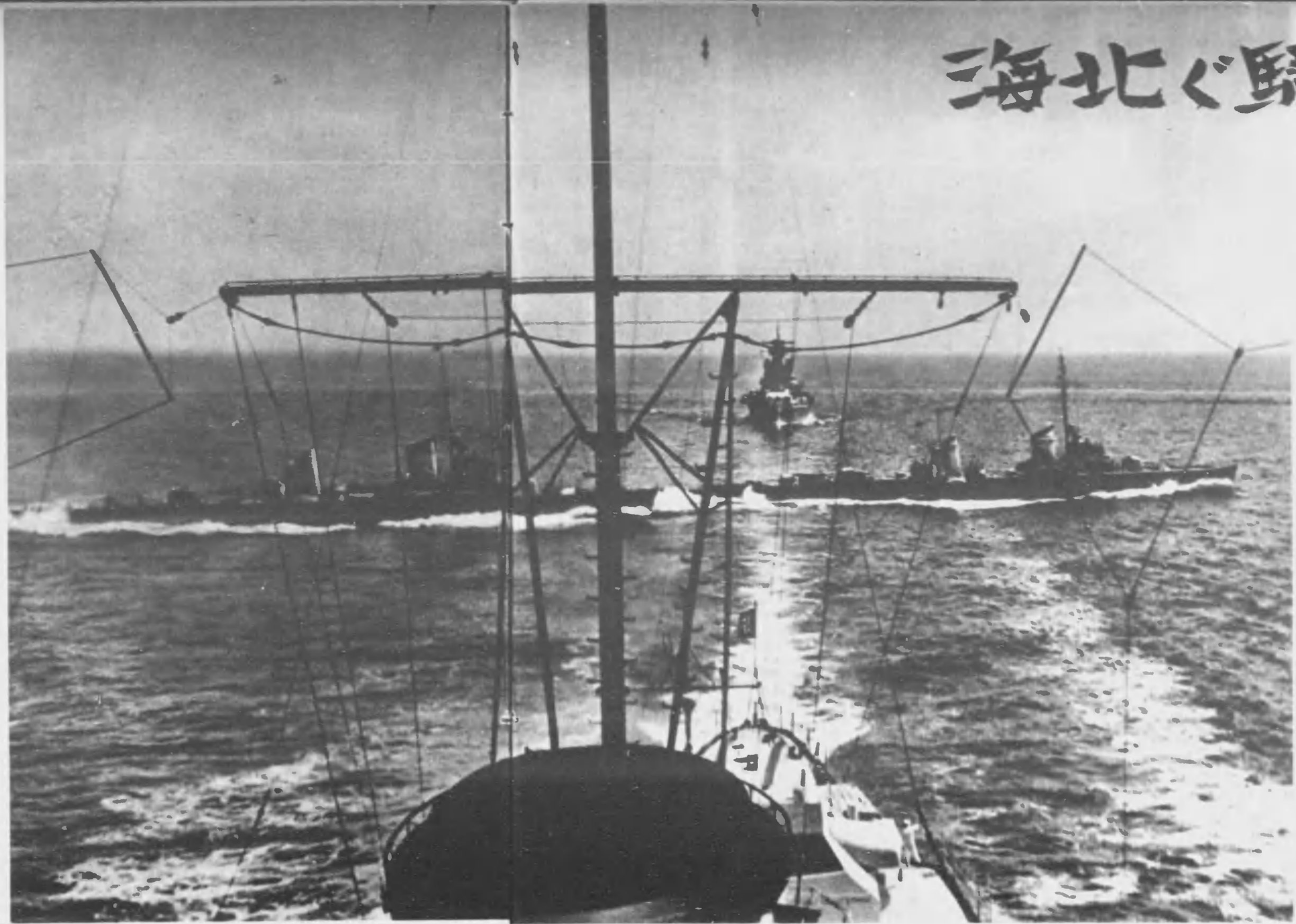
波騒ぐ北海

ドイツ
水雷艇隊

疾風の如き海軍のデスマーチ占領、ノルウェー
進軍によって戦火は忽ちにして北域を大戦域に
したが、ドイツ対英海軍の戦闘はこれをきつかに
に北海を中心として果かに激化することが推想
される。
さて北海に優勢な英海軍を向ふに對しての獨逸
軍の作戦を考へると、まづ考へらるべきは軍
海軍の持つ潜水艇であるが、「水に潜る潜水艇」
水雷艇もこれに劣らず、傑作戦に活躍するであ
らう。

小型の艇艇で航の大船艇を阻よ水雷艇の武器
はその機敏なスピードと水雷であつて、それには
敵に近づいて水雷をぶつ放すや、いち早く快速を
利して姿を消すといふのがその特色であるから獨
水雷艇の訓練もやはりこの點に重點が置かれ水
雷艇の正確と快速運轉に危険神なる猛訓練が
づけられてゐる。

写真 海軍



精密を極める機射装置の點
検を終つた
「第一機射部、用意、發射」
目にもとまらぬ勢いで魚雷
は飛び出した(下右)

機射された魚雷は直線的に
は標的艦の直前に至るといふ
と深く海に墜つて標的艦のす
を切り先へ行つて再び海面に
浮びあがる(下左)

標的艦に魚雷水雷を機射し
た水雷艇は大膽にも敵の家
裏に出るべく進航中の標的艦
隊の列を全速力で突きぬけ
る(上右)

魚雷水雷一團は何重マルク
もする高價なものだから水雷
艇は機射がすむとすぐその後
を追つかけて水雷をひらひ上
げる(上左)

大豆がパラプル

満洲國



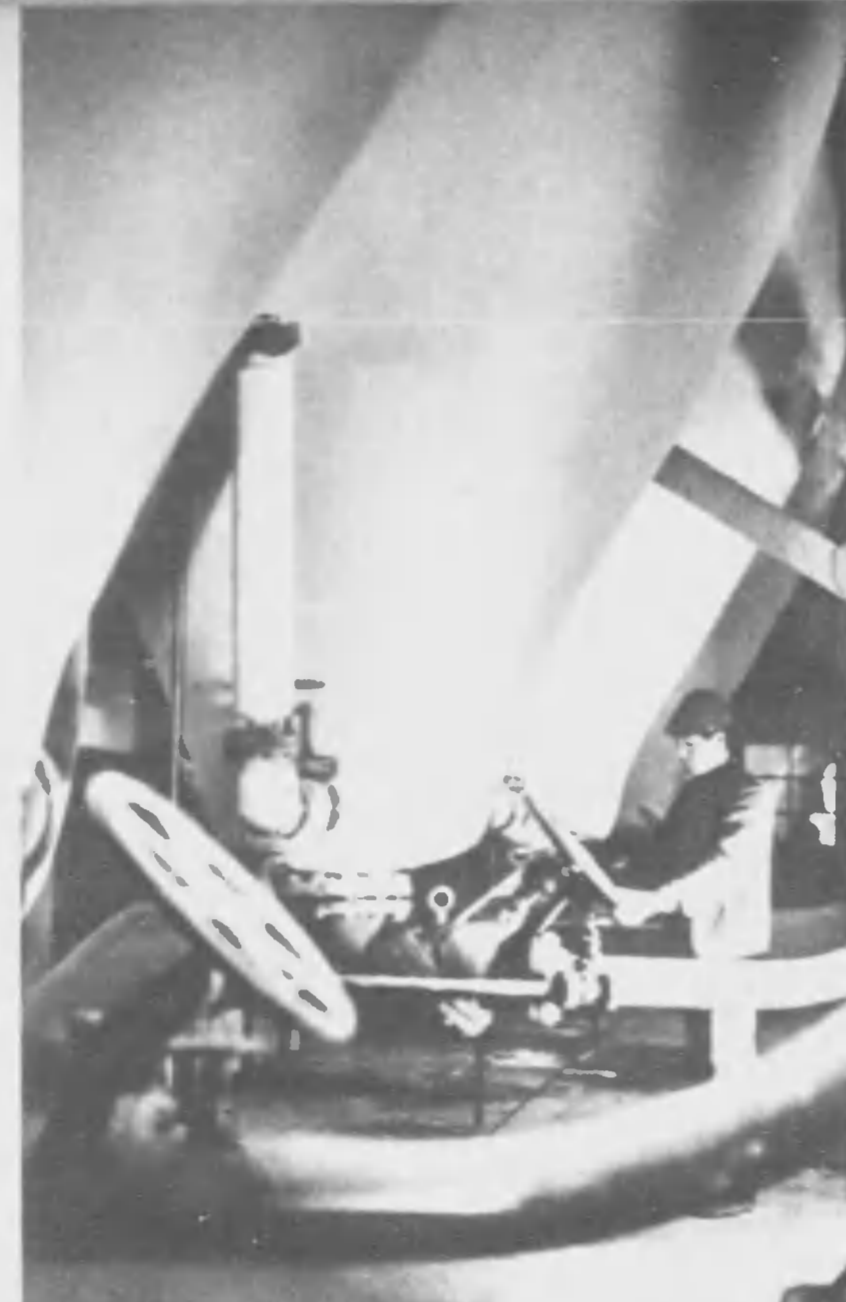
大豆といへば、これまでわがくに燃料としてしか利用されなかつたが、今成人絹、ス、フ、紙などの重要な材料である木材パルプの原料として一躍、國策上の花形に生れ變ることとなつた。滿洲特産「豆科パルプ」がそれである。一時異色を放つた滿洲大平原に年々六百萬畝も産する新しい大豆種が、あの美しい純白のバルプに變る。まことに聞くに堪へない話である。

新京と奉天の間に中間に位置し、昔から大豆の集散地として名高い開原が、この新興産業の中心地であつて、近代科學の知識を傾けた豆科パルプ工場が立ち立し、滾々たる黒煙を吐いてゐる。附近一帯の豆科はこゝに集約され、電氣分解法による生産方式によつて加工される。豆科の除膜、加熱、乾燥など、すべて生産工程は最新式の巨大な機械にかけられ、モーターの怒號、數百のジリジリの轟音等耳を聳するばかりである。

かくて豆科パルプ工業は、その洋々たる前途に内外の注目を惹き滿洲國第一次生産額充五ヶ年計畫の重要部門であるパルプ工業のうちでも特に重要視されるに至つた。

開原に集まつた大豆種はすべて土人種でも見るとやうに純白に輝く。

原料を機械に入れて小さく切斷



大きな豆物の原料を磨はせるグイジエスター（蒸氣機）こまぐらになつた豆種はこゝで三時間蒸す。



蒸された豆種はジョンソン式装置にかけられて豆種とバルプに分離する。



ドロドロになつたバルプの流動性を導引機にかけられて水分をとる。



いよく最後の仕上げとして水分を清りとす、最新式の機械で熱風を吹きこむ。



これがさつきの豆種かと思はれるほど真っ白になつたバルプ、四方をばかつて製品とする。



豆科パルプからス、フとなり人絹となり、美しい織物となつて店頭に出る。

撮影 滿洲國通信社



⇒ 學課と實地作業の両面から訓練生は産業職士の素質を備へてゆく。實地から通して教へられる理論は何よりも早わかりである。



⇒ 火を敵とする研鑽作業は自己の心を鍛へ直す産業報國の意氣を胸一杯に燃えあがらせる。

⇒ はりつめた精進の合間には楽しい潮干狩がある。訓練所附近の海岸にハマグリ、アサリを掘るのも習熟教育の一つ。撮影 吉田 榮



に丸の目を心だんがゆ

所練訓員工術技橋船縣葉千



訓練生の一日は厳格な開放捕撈に始まる

浮浪、口説、脅迫、殺傷事件が少年の手によって行はれた。犯人は警察に捕縛され、検事局から少年審判所へ送られる。しかしその過ちから罪を犯した彼等には國家は温い手をさしのべて保護観察に當つてゐる。大正十一年四月十七日施行された少年法による少年犯罪者の保護観察がこれである。或る若き審判所から保護観察である少年院や少年保護施設へ、また或る者は適當な指導者(囑託少年保護司)を指定して、少年の自宅でそれ(第二國民として)恥ぢない指導を受ける。前非を悔い、猛然と立上つた彼等は非常時局を認識して大國への報復、現役志願から國家の干城へ、そして生産者に當る産業職士へと、それぞれ立派に成長してゐる。この紹介する船橋技術工員訓練所は人生の再出発を産業職士として踏みださうとする少年の保護施設である。



月に一圓支給される奨学金はまづ貯蓄。俺はもう二十圓だ。俺は三十五圓だ。積る貯蓄に夢みは湧く。

春の香料



毎年春になると、ウミネコは雄々南の國から帰って来て、春の香料のそばに卵を生む。

ウミネコは春に育つ

鳥の春は、冬の間、フィリピン・ジャバ・スマトラ・ボルネオその他遠く南洋方面に、越冬のため行つて来たものが、春と共に再び彼等の故郷たる日本に帰って来るのである。そしてこれらの鳥類は、春から夏にかけてわが國で繁殖し、秋冷を覚える頃になれば、再び南方へ飛び去つてしまふ。この渡り鳥の去來の正確さを裏付けるものは所謂「鳥類」である。もう何鳥が来たから何の種子を待たねと卵をこぼす。

の多くは、冬の間、フィリピン・ジャバ・スマトラ・ボルネオその他遠く南洋方面に、越冬のため行つて来たものが、春と共に再び彼等の故郷たる日本に帰って来るのである。そしてこれらの鳥類は、春から夏にかけてわが國で繁殖し、秋冷を覚える頃になれば、再び南方へ飛び去つてしまふ。この渡り鳥の去來の正確さを裏付けるものは所謂「鳥類」である。もう何鳥が来たから何の種子を待たねと卵をこぼす。

鳥の春は、冬の間、フィリピン・ジャバ・スマトラ・ボルネオその他遠く南洋方面に、越冬のため行つて来たものが、春と共に再び彼等の故郷たる日本に帰って来るのである。そしてこれらの鳥類は、春から夏にかけてわが國で繁殖し、秋冷を覚える頃になれば、再び南方へ飛び去つてしまふ。この渡り鳥の去來の正確さを裏付けるものは所謂「鳥類」である。もう何鳥が来たから何の種子を待たねと卵をこぼす。

の多くは、冬の間、フィリピン・ジャバ・スマトラ・ボルネオその他遠く南洋方面に、越冬のため行つて来たものが、春と共に再び彼等の故郷たる日本に帰って来るのである。そしてこれらの鳥類は、春から夏にかけてわが國で繁殖し、秋冷を覚える頃になれば、再び南方へ飛び去つてしまふ。この渡り鳥の去來の正確さを裏付けるものは所謂「鳥類」である。もう何鳥が来たから何の種子を待たねと卵をこぼす。



ヨチ／＼歩く幼鳥を親鳥はつきり育てあげて



可愛いわが子をかばふためには、親鳥は土で場所をひさへする



一目くらぬ親つと、卵は割れてべつとりと濡れたグロチヌカからだが現はれる



雛時間には早くも見送るやうな可愛い幼雛に親はつてしまふよ



子鳥は充分成長したけれども親鳥はまだ大事さうにつれ歩く



七月末にはひろ／＼とした外洋で泳ぎや羽ばたきを働いて立派な水鳥になる



支那事變國債 第四十二期 五月三日 郵政省印刷局發行

戰線將兵に

彈丸を糧食を



四月二十二日 五月三日

郵政便局賣出

支那事變國債

大藏省

内閣印刷局印刷發行

(「郵便報知」・A4規格定額はさき大の書本)